

品質方針

当社は三菱電機グループ企業として『お客様が安心・満足できる品質を目指す』『品質不適切行為をしない・させない・できない・見過ごさない』の企業理念を強く持ち、品質へのこだわりを経営の最重要課題の一つと位置付けて推進します。当社の製品である「鉄道車両用・配電用・電力用」の社会インフラ機器製品の製造と社会への提供を通じて『品質第一で製品・サービスを提供します』をあたり前に実践し、お客様や社会からいっそう信頼され愛される企業を目指すために『一人ひとりが主役となってより良い品質をつくります』。このため、すべての事業活動ならびに全従業員が以下に掲げる品質保証活動に取り組みます。

この品質方針を全従業員に周知するとともに、社外に公開します。

= 品質保証活動への取り組み =

1.品質最優先風土の醸成とマネジメントの推進

社会に提供する製品・サービスの品質を担保することは、製造メカとして最低限の社会規範であり、品質の維持は言うまでもなく、更なる向上に向けて感性を鋭くして、品質保証に取り組む企業としての品格を常に忘れずに事業活動と従業員行動を実践します。特に、社会倫理に反する品質不適切行為は、絶対に発生させてはならないとの決意で、全従業員一丸となって品質最優先を企業風土として徹底します。

また、当社の品質マネジメントシステムを維持・向上するため、品質保証活動のPDCAサイクルが継続的にまわる組織体制と仕組みを整備し、確実に運用します。

2.事業活動全プロセスの品質作り込み強化

設計・調達・工作・検査・試験・出荷・アフターサービスの全ての領域で、リコール等につながる重大な市場不具合の発生を防止すべく、全ての部門の業務品質を継続的に改善するとともに、部品・中間製品・製品の各段階での「品質の自工程完結」と「不良の流出防止」を徹底します。

3.品質不具合発生時の対策徹底

品質不具合が発生した時は、迅速な初動によって現状復帰することを最優先に行動するとともに、その不具合が波及する影響範囲を正しく調査・把握して、素早く対策を打ちます。また、原因究明と対策を完遂することによって、同じ不具合の再発を防止するとともに、対策の有効性を評価(保証)し、仕組みに落とし込みます。

4.品質費用の抑制

品質費用(二損失)を構成する「無償工事費(市場不具合対策に伴う費用)」および「仕損費(社内不具合対策に伴う費用)」を継続的に削減し、当社の品質経営力を維持・向上させます。品質費用の目標管理を強化し、当社の責任による不具合の削減と、不具合発生時の迅速・的確な対策による費用削減に継続して取り組みます。

= 品質行動目標 =

- (1)品質不適切行為の発生および見過ごしの絶対阻止
- (2)市場での重大品質不具合の発生防止
- (3)品質費用率[生産高原単位]の維持・改善
- (4)社内不良件数(調達品不良および工作不良)の継続的な削減

2024年4月1日制定

三菱電機社会インフラ機器株式会社

取締役社長 **東村 充章**